

# 東山トンネル内装工追跡調査結果報告書

- 1.調査立会者 : 名古屋高速道路公社 保全施設部 保全課 主査 坂戸 祥治
- 2.調査実施者 : 平良 一夫 井上 憲一
- 3.追跡調査実施日 : 平成22年9月17日
- 4.調査場所 : 下りKP9.0
- 5.調査目的

平成14年12月に東山トンネルの内装工として、無溶剤・無機質コーティング材が塗装された。経時変化として、その塗膜はがどのようになっているか。また、洗浄性および洗浄回復性の現状調査を行った。( 前回は、右記Aの通り)

## 6.調査項目・結果

- 汚染の程度
- 現況
  - ・目視による、汚染物質の付着が認められ、グレー色を帯びた半透明状態であった。
  - ・光沢計による測定結果 : 下写真の通り。
- 使用機器 光沢計
- ・洗浄回復性
  - ・光沢計による測定結果 : 下写真の通り。
- 塗膜の状態
- ・目視による観察
  - ・ウェス水拭き後、塗膜の状態を観察した結果、経時変化による、光沢、はがれ、割れ、膨れ等の塗膜の異常は認められなかった。
  - ・遊離石灰等の流出部の観測
  - ・目視による観測の結果、調査場所(下りKP9.0)及びその周辺での遊離石灰等の流出は認められなかった。



## 東山トンネル内装塗装 追跡調査 下りKP9.0 地点 平成22年9月17日



## A 追跡調査 平成21年6月19日 調査場所緑橋換気所 出入り扉付近 下り線側壁

A 現状緑橋換気所		水洗い	乾拭き
20	67	50	
B 現状緑橋換気所		水洗い	乾拭き
20	64	47	
C 現状緑橋換気所		水洗い	乾拭き
19	59	47	

## 東山トンネル内装塗装 追跡調査 下りKP9.5 地点

- 立会人 : 名古屋高速道路公社
- 1.調査実施者 : 平良 一夫 北澤 和代
- 2.追跡調査実施日 : 平成23年9月9日
- 3.調査場所 : KP 9.5 付近 走行車線 3箇所 ABC
- 4.調査目的 : 平成14年12月、東山トンネル内装工として、無溶剤・無機質コーティング材が塗装された。経時変化として、塗膜はがどのようになっているかまた、洗浄性および洗浄回復性の現状調査を行った。
- 5. 調査目的、6.調査項目・結果は同じ
- 6.総括 : 追跡調査は、時間的制約(約30分)並びに調査場所の制約があり、内装工の広範囲での調査はできなかった。調査範囲は、局部的(3箇所)に止まったが、汚染物質の簡易洗浄(ウェス水拭き洗浄)による洗浄性および洗浄回復性(光沢回復)の所期の機能は確認できた。なお、当該の調査箇所(A、B、C)及びその周辺箇所では、目視による塗膜の経時変化は認められなかった。

